

第 30 回 慶應義塾大学病院医師主導治験審査委員会 会議の記録の概要

日時：2023 年 7 月 31 日（月） 14 時 00 分-15 時 10 分

場所：慶應義塾大学病院 2 号館 11 階中会議室（使用システム：Zoom）

委員出席者 委員長 神山 圭介（臨床研究監理センター教授）
副委員長 浜本 康夫（腫瘍センター准教授）
森崎 浩（麻酔学教授／麻酔科診療科部長）
許斐 健二（臨床研究推進センター教授）
三浦 公嗣（藤田医科大学 特命教授）
竹下 啓（東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学領域教授）
矢田部 菜穂子（弁護士）
唐澤 貴夫（弁護士）
有馬 斉（横浜市立大学国際教養学部准教授）
馬上 祐子（小児脳腫瘍の会）
福島 慎吾（認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク）

委員欠席者 青森 達（副薬剤部長）
天野 慎介（一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン）

病院治験事務局出席者 別府 紀子、池谷 修、杉山 眞智子、三田 真凜

出欠を確認し、各審議に参加できない委員を考慮した上で、本委員会の審議及び採決の要件が満たされていることを確認した。

許斐委員、三浦委員、竹下委員、矢田部委員、唐澤委員、有馬委員、馬上委員、は Web 会議システムでの参加となった。

1. 神山委員長より、第 29 回医師主導治験審査委員会議事録（案）について意見の有無を確認し、異議のないことを確認し承認した。
 2. 臨床研究利益相反マネジメント委員会にて、今回の医師主導治験審査委員会の審査事項に係る利益相反に関して新規 1 件（DB23-001）が審査され、適正であると判断されたことが報告された。
 3. 審査事項
- 3-1. 新規申請
- 1) DB23-001
「心不全患者におけるフィジカルトレーニング支援・教育プログラムの検証を目的とした多施設共同探索的ランダム化比較試験」

審査の結果、「修正の上で承認」とした。

3-2. 安全性情報

1) DA22-001

「相同組換え修復遺伝子変異を有する切除不能な進行・再発の固形がん患者に対する Niraparib および PD-1 阻害剤併用療法の有効性および安全性を評価する多施設共同第 II 相バスケット試験」

審議の結果、「承認」と判定した。

2) DA22-002

「副腎皮質ステロイドに抵抗性の成人発症スチル病（AOSD）患者に対する 5-アミノレブリン酸塩酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム（5-ALA-HC 1 /SFC）の第 II 相医師主導、ランダム化二重盲検並行群間比較試験」

審議の結果、「承認」と判定した。

3) DA22-003

「副腎皮質ステロイドに抵抗性の成人発症スチル病（AOSD）患者に対する 5-アミノレブリン酸塩酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム（5-ALA-HC 1 /SFC）の第 II 相医師主導、継続投与試験」

審議の結果、「承認」と判定した。

4) DA22-004

「血中循環腫瘍 DNA 陽性の腫瘍減量術後進行卵巣がん患者を対象としてベバシズマブ+ニラパリブ併用療法とニラパリブ単剤維持療法を比較する無作為化第 II 相試験」

審議の結果、「承認」と判定した。

5) DA22-005

「上皮系皮膚悪性腫瘍に対する抗 PD-1 抗体療法の医師主導による多施設共同拡大治験」

審議の結果、「承認」と判定した。

6) DA22-006

「HRD 陽性再発・難治性婦人科希少がんに対する Niraparib の安全性・有効性を評価する単群・非盲検第 II 相試験」

審議の結果、「承認」と判定した。

3-3. 変更申請

1) DA21-004

「腰椎椎間板ヘルニア患者に対する KTP-001 の臨床第 I / II a 相試験」

審議の結果、「承認」と判定した。

2) DA22-001

「相同組換え修復遺伝子変異を有する切除不能な進行・再発の固形がん患者に対する Niraparib および PD-1 阻害剤併用療法の有効性および安全性を評価する多施設共同第 II 相バスケット試験」

審議の結果、「承認」（付帯意見あり）と判定した。

3) DA22-002

「副腎皮質ステロイドに抵抗性の成人発症スチル病（AOSD）患者に対する 5-アミノレブリン酸塩酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム（5-ALA-HC I /SFC）の第 II 相医師主導、ランダム化二重盲検並行群間比較試験」

審議の結果、「承認」と判定した。

4) DA22-005

「上皮系皮膚悪性腫瘍に対する抗 PD-1 抗体療法の医師主導による多施設共同拡大治験」

審議の結果、「承認」と判定した。

5) DA22-006

「HRD 陽性再発・難治性婦人科希少がんに対する Niraparib の安全性・有効性を評価する単群・非盲検第 II 相試験」

審議の結果、「承認」と判定した。

3-4. 実施状況

1) DA21-001

「HER2 陽性の進行期乳房外パジェット病に対するトラスツズマブ エムタンシン治療の第 II 相臨床試験（多施設共同医師主導治験）」

審議の結果、「承認」と判定した。

3-5. モニタリング報告

1) D20-05

「静脈奇形に対するモノエタノールアミノレイン酸塩を用いた硬化療法の有効性及び安全性を評価する多施設共同非盲検単群試験」

審議の結果、「承認」と判定した。

2) DA21-007

「日本人肺 MABC 症患者にクロファジミンと抗菌薬 3 剤を併用した際のクロファジミンの薬物動態を探索する第 I 相試験－医師主導治験－」

審議の結果、「承認」と判定した。

4. 報告

4-1. 終了報告

1) D20-05

「静脈奇形に対するモノエタノールアミノレイン酸塩を用いた硬化療法の有効性及び安全性を評価する多施設共同非盲検単群試験」

終了報告を確認した。

2) DA21-005

「ダロルタミド単剤または LH-RH 製剤との併用によるアンドロゲンレセプター陽性進行期乳房外パジェット病に対する内分泌療法第 II 相臨床試験」

終了報告を確認した

5. その他

5-1 今後の新規予定について

5-2 電磁化システムについて

以上